

2026年5月12日

報道関係者各位

金谷ホテル株式会社

食と伝統工芸品を愉しむ 期間限定企画を開催
～時代を超えて受け継がれる伝統の技と美食の饗宴～



中禅寺金谷ホテル（所在地：栃木県日光市／総支配人：深谷 カンナ）は、ダイニンググループ「みずなら」にて、栃木県佐野市の伝統工芸品『佐野武者絵のぼり』を展示する特別企画『食と伝統工芸品を愉しむ ～時代を超えて受け継がれる伝統の技と美食の饗宴～』を期間限定で開催いたします。

佐野市は、雛人形やのぼりなど「際物」文化が発展した地域として知られ、その起源は、日光東照宮造営の際に全国から集められた名匠たちが技術を伝えたことに由来するとされています。こうした歴史的背景から、『佐野武者絵のぼり』は日光とも深いゆかりを持つ伝統工芸品です。

本企画では、勇壮かつ色鮮やかな『佐野武者絵のぼり』をレストランの窓面に展示し、日本の伝統文化と食体験が調和する特別な空間を演出いたします。

また、ダイニンググループ「みずなら」では、栃木県産の食材を積極的に取り入れ、地産地消を大切にされた料理をご提供しております。豊かな自然に育まれた旬の恵みを味わいながら、栃木が誇る伝統工芸品の美と技をご鑑賞いただくことで、地域文化の魅力をご堪能いただけます。

ぜひこの機会に、中禅寺金谷ホテルにて、栃木の恵みを味わう美食とともに、受け継がれる伝統工芸の世界をご堪能ください。

■概要

名称：食と伝統工芸品を愉しむ

～時代を超えて受け継がれる伝統の技と美食の饗宴～

期間：2026年5月14日（木）～2026年7月13日（月）予定

展示品：佐野武者絵のぼり 8点

■作者プロフィール

長竹 敏夫（ながたけ としお）

明治31年（1898年）創業の栃木県佐野市赤見町の長竹人形店に昭和24年（1949年）6人兄弟の末子として生まれる。昭和42年（1967年）に三代目として家業に入る。その後60年程、長竹家に伝わる手描きの技法で、武者絵や金太郎、鍾馗などの幟（のぼり）を製作。平成29年（2017年）に『佐野武者絵のぼり』が【栃木県伝統工芸品】に指定され、翌年には【栃木県伝統工芸士】として認定されました。

■『佐野武者絵のぼり』について

『佐野武者絵のぼり』は、栃木県佐野市に江戸時代から伝わる伝統工芸品です。端午の節句に男児の健やかな成長や立身出世を願い掲げられてきたもので、勇壮な武者絵や家紋を手描きで染め上げる技法が特徴です。力強さと繊細さを兼ね備えた意匠は、日本の伝統美を象徴する文化として受け継がれており、現在も職人の手仕事によって一つひとつ丁寧に制作されています。



◆本取材に関するお問い合わせ

TEL：0288-50-1123（営業企画課 9：00～17：30）

MAIL：kouhou@kanayahotel.co.jp